



平成26年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 イムラ封筒

コード番号 3955 URL <http://www.imura.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 井村 優

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 福塚 昌義

TEL 06-6910-2511

四半期報告書提出予定日 平成25年12月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年1月期第3四半期の連結業績(平成25年2月1日～平成25年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第3四半期	16,392	2.4	264	467.6	328	162.9	277	391.5
25年1月期第3四半期	16,003	△0.3	46	—	125	171.8	56	△37.2

(注) 包括利益 26年1月期第3四半期 370百万円 (246.0%) 25年1月期第3四半期 107百万円 (155.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年1月期第3四半期	13.01	—
25年1月期第3四半期	2.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年1月期第3四半期	20,182	11,569	57.3
25年1月期	20,608	11,199	54.3

(参考) 自己資本 26年1月期第3四半期 11,558百万円 25年1月期 11,186百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年1月期	—	0.00	—	—	—
26年1月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年1月期の連結業績予想(平成25年2月1日～平成26年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	21,690	2.0	230	228.1	270	42.1	130	219.2	6.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年1月期3Q	21,458,740 株	25年1月期	21,458,740 株
② 期末自己株式数	26年1月期3Q	101,533 株	25年1月期	101,533 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年1月期3Q	21,357,207 株	25年1月期3Q	21,357,207 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、本資料の発表日現在における経済環境や事業計画等に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
(4) 剰余金の配当に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報等.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	8

【定性的情報・財務諸表等】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済対策や金融政策への期待感から円安・株高が進み、企業収益の改善がみられるなど、緩やかな回復傾向にありました。

しかしながら、当業界においては長期的な郵便物の減少傾向や企業の節約志向の影響を受け、当社を取り巻く環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループは「直販営業の強化」、「事業規模に見合った生産・営業体制の確立」、「高品質の追求および新商品・新サービスへの挑戦」を基本方針に、お客様に満足いただける商品やサービスの開発・提供によるイムラブランドの確立ならびに収益力の強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は163億92百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益は2億64百万円（前年同期比467.6%増）、経常利益は3億28百万円（前年同期比162.9%増）、また、特別利益に投資有価証券売却益61百万円を計上したことなどにより、四半期純利益は2億77百万円（前年同期比391.5%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(封筒事業)

通信会社向け請求書用封筒が減少しましたが、NISA（少額投資非課税制度）案件を取り込んだほか、ダイレクトメールの増加やデザイン案件の獲得などにより、売上高は132億61百万円（前年同期比2.9%増）となりました。損益面では、売上増に伴い外注加工賃・運搬費・時間外手当の増加などにより収益性が低下しましたが、人件費や諸経費の削減に努め、営業利益は2億15百万円（前年同期比251.8%増）となりました。

(マーリングサービス事業)

総合提案力の強化に取り組み、アウトソーシング案件の新規受注やセミナーを起点としたソリューション営業を展開したほか、官公庁関連受注やダイレクトメールの増加などにより大幅な増収となり、売上高は18億69百万円（前年同期比11.0%増）となりました。損益面では、外注加工賃や運搬費の増加に加え、得意先の倒産による貸倒が発生しましたが、労務費や諸経費の削減に努め、営業利益は35百万円（前年同期は営業損失49百万円）となりました。

(その他)

情報システム事業において前期に発生した自治体向けスポット受注が当期はなかったことに加え、子会社も競争激化や需要減少などの影響を受け、売上高は12億61百万円（前年同期比11.6%減）、営業利益は8百万円（前年同期比73.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億26百万円減少して201億82百万円となりました。これは主に、増収に伴い売上債権やたな卸資産が増加した一方で、有利子負債の返済により現金及び預金が減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ7億97百万円減少して86億12百万円となりました。これは主に、有利子負債の圧縮に努めたことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ3億70百万円増加して115億69百万円となりました。これは、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

なお、自己資本比率は57.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点において、平成25年3月15日に発表いたしました「平成25年1月期決算短信」に記載しております平成26年1月期業績予想からの変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(4) 剰余金の配当に関する定性的情報

当社は、株主に対する安定的配当の継続を最重要政策の一つに位置付けております。

平成26年1月期の期末配当につきましては、これまで未定としておりましたが、今後の経営環境および業績見通し等を勘案し、1株当たり2円の配当を実施する予定といたしました。詳細につきましては、平成25年12月6日公表の「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,114	3,162
受取手形及び売掛金	3,274	3,517
電子記録債権	116	334
商品及び製品	477	514
仕掛品	189	255
原材料及び貯蔵品	377	474
その他	1,309	1,452
貸倒引当金	△9	△14
流動資産合計	9,850	9,696
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,785	1,731
機械装置及び運搬具(純額)	1,804	1,922
土地	4,303	4,303
その他(純額)	336	299
有形固定資産合計	8,229	8,256
無形固定資産		
その他	56	56
無形固定資産合計	56	56
投資その他の資産		
投資有価証券	1,596	1,490
その他	894	709
貸倒引当金	△17	△27
投資その他の資産合計	2,472	2,172
固定資産合計	10,758	10,486
資産合計	20,608	20,182

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,868	3,011
短期借入金	1,720	1,170
1年内返済予定の長期借入金	683	588
未払法人税等	26	47
賞与引当金	261	417
その他	1,069	1,090
流動負債合計	6,630	6,324
固定負債		
長期借入金	1,375	1,050
退職給付引当金	161	198
役員退職慰労引当金	438	405
資産除去債務	90	92
その他	712	542
固定負債合計	2,779	2,287
負債合計	9,409	8,612
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	1,363	1,363
利益剰余金	8,410	8,688
自己株式	△25	△25
株主資本合計	10,945	11,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	240	334
繰延ヘッジ損益	1	—
その他の包括利益累計額合計	241	334
少数株主持分	12	11
純資産合計	11,199	11,569
負債純資産合計	20,608	20,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)
売上高	16,003	16,392
売上原価	12,800	13,037
売上総利益	3,202	3,354
販売費及び一般管理費	3,155	3,090
営業利益	46	264
営業外収益		
受取利息	2	6
受取配当金	26	21
貸倒引当金戻入額	11	2
助成金収入	20	0
その他	53	67
営業外収益合計	113	98
営業外費用		
支払利息	27	21
その他	8	12
営業外費用合計	35	34
経常利益	125	328
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	61
特別利益合計	0	61
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	9	4
投資有価証券売却損	—	13
投資有価証券評価損	67	—
特別損失合計	76	18
税金等調整前四半期純利益	48	371
法人税、住民税及び事業税	18	43
法人税等調整額	△26	51
法人税等合計	△8	95
少数株主損益調整前四半期純利益	56	276
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△1
四半期純利益	56	277

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	56	276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50	94
繰延ヘッジ損益	—	△1
その他の包括利益合計	50	93
四半期包括利益	107	370
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	107	371
少数株主に係る四半期包括利益	0	△1

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	封筒事業	メーリングサ ービス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,890	1,684	14,575	1,427	16,003	—	16,003
セグメント間の内部売上高 又は振替高	61	0	61	111	173	△173	—
計	12,952	1,685	14,637	1,538	16,176	△173	16,003
セグメント利益又は損失 (△)	61	△49	12	31	44	2	46

(注) 1 その他には、以下の事業が含まれております。

- コンピュータ及び周辺機器類の販売、ソフトウェアの開発
 - 医療機関用印刷物の製造販売及び医療機関用諸物品の販売
 - 不織布製の封筒・造園資材等の製造販売並びに機械部品等の輸出入
 - 機械器具の自動制御装置及び電子回路の設計製造販売
- 2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引の消去であります。
- 3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年2月1日 至 平成25年10月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	封筒事業	メーリングサ ービス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,261	1,869	15,131	1,261	16,392	—	16,392
セグメント間の内部売上高 又は振替高	55	0	55	82	138	△138	—
計	13,317	1,869	15,186	1,344	16,531	△138	16,392
セグメント利益	215	35	251	8	260	3	264

(注) 1 その他には、以下の事業が含まれております。

- コンピュータ及び周辺機器類の販売、ソフトウェアの開発
 - 医療機関用印刷物の製造販売及び医療機関用諸物品の販売
 - 不織布製の封筒・造園資材等の製造販売並びに機械部品等の輸出入
 - 機械器具の自動制御装置及び電子回路の設計製造販売
- 2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。